

# 実施計画書

課題名： 当院摂食嚥下支援チームにおける歯科衛生士の新たな取り組み

歯科口腔外科 歯科衛生士 矢野 陽子

## 1. 背景

近年、入院患者の栄養管理の一端として、口腔機能を正しく評価していくことの重要性が指摘されている。当院の摂食嚥下支援チームでも、立ち上げ当初より歯科が関わり、主に歯科衛生士による口腔衛生管理を行ってきた。

しかし、嚥下機能に問題がなくても、その後の患者の摂食状態が改善されないことも多く、その一因として口腔機能の低下が疑われるケースも多い。

嚥下機能とあわせて口腔機能の評価を行うことで、口腔機能低下症の抽出と口腔機能訓練の早期開始について、積極的に取り組んでいく必要があると考える。

## 2. 目的

2024年度1月から7月に摂食嚥下支援チームで介入し、歯科口腔外科で口腔機能検査を行った患者についての現状や課題について考察し今後の摂食嚥下支援チーム活動の一助とする。

## 3. 方法

### 1) 調査期間

2024年1月～2024年7月末日

### 2) 対象

調査期間中の嚥下評価対象者のうち、歯科口腔外科で口腔機能検査を実施した患者

### 3) 調査内容

対象患者について年齢、性別、疾患名、嚥下評価の結果、口腔機能検査の検査結果提供している病院食の内容 等

### 4) 研究デザイン

電子カルテ内の既存情報を収集する後ろ向き研究を取り入れた活動報告

### 5) インフォームド・コンセント

本調査は、電子カルテ内の既存情報を収集する後ろ向き研究であるためインフォームド・コンセントは必須ではないと考える。

6)費用

発生しない

7)患者への影響

本調査は、電子カルテ内での情報収集であり後ろ向き研究である。さらに患者を特定する情報を公開しないため患者に有害事象はないと考える。

8)個人情報保護

本調査で得られた情報は、研究責任者、研究分担者により管理する。患者個人の氏名・住所・電話番号等はデータベース化しない。

データを病院外に持ち出す際には患者の特定に繋がるデータは持ち出さないこととし、研究の成果を学会発表で公表する場合には集計結果のみを用い、個人を特定できないように行う。

4. 研究実施組織

国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 摂食嚥下支援チーム

研究責任者： 歯科口腔外科	歯科衛生士	矢野 陽子
研究分担者： リハビリテーション科	言語聴覚士	木村 玲子
看護部	看護師	水本 由衣
歯科口腔外科	技師長 歯科衛生士	富本 麻美
歯科口腔外科	部長 歯科医師	東森 秀年
耳鼻咽喉科	医師	伊藤 周